

青年部



やります。
やるぞ。青年部

中澤郁夫

昨年までの中島代表を中心とする体制から、今年度より守屋部長へと新体制で活動しています。また新入部員4名も加わり、さらにパワーアップしています。体制が変わりいきなり、5月の子どもフェスティバルに協賛させて頂きました。町中の子供たちが集まるこのお祭りで「わたあめ」と「ポップコーン」の販売をお手伝いしました。フェスティバルは大盛況に終わりましたが、わたあめ機の調子が思わしくなく、大行列でだいぶお客様にはご迷惑をかけてしまいました。機械は倉庫掃除の時に整備する予定です。

6月は坂城町の新たななる魅力となった、ばら祭りに出店しました。年々来場者が増えており町へ少しでも協力できたと思います。坂城どんどんでは昨年に引き続き、県下最大級の水槽とうわさの金魚すくい。



夏といえば、かき氷と生ビールの販売。子供たちに人気のすいか割り大会。新企画のチョコQを決められた位置にびったりにとめる「ギリギリころころゲーム」。当日は天気にも恵まれたなか、目隠しをした子にすいかの位置を大きな声で教えたり走り過ぎてしまうチョコQを止めようと必死で力んでみたりと、いずれも子供たちは大盛り上がり。夜は昼間のイベントの疲れも吹き飛ばす踊り流しへ参加し惜しくも、正調部門での入賞を逃しました。

今後の予定として、福祉ふれあいの集い、辛味大根まつり、への出店。見聞を広める研修旅行。今年もやります、第39回年末チャリティー。名入れだるまの注文を宜しく願います。

イベント目白押しですが、青年部発足40周年記念事業を含め、皆様のご理解とご協力を宜しく願います。

女性部



中澤恵子

現在、女性部は62名の会員で構成されています。何年前、母の身体の具合が悪くなったので、私が引き継ぎました。母が部長の頃はちょうど長野オリンピックの前で、選手や役員に貝殻を使った小さなお雛様の飾りを贈ろうと長野県中の女性部(当時は婦人部)が皆で作っていたことを思い出されます。

「子供フェスティバル」や「福祉ふれあいのつどい」では、やさそばの販売をして、お客様に好評で、作るはじから売れていきます。応対に忙しくお客様とお話する時間をなかなか作れません。「ばらまつり」では開催中一日の休みもななくずっと飲み物の販売をしています。私は開店から閉店まで一日しか参加できませんでしたが、ちょうど非常に暑い日

で、売切れてしまい追加をする状況でした。仕事の合間に頻繁に顔を出している方もあり、頭の下がる思いです。お買物物の折にお客様とお喋りも楽しいです。先日関東ブロック商工会女性部交流研修会へ出席しましたが、活発な活動と活動分野の幅広さに驚き、圧倒されました。会場には、はつらつとしたエネルギーが満ち溢れていました。また北信の他女性部とのバスも、珍しい話を沢山聞くことができ、勉強になりました。いつでも女性部の会員を募集しています。女性部は多彩な活動ができます。私たちと一緒に新しい坂城なりの女性部を楽しもうではありませんか。



「ふるさと小包グランプリ優勝」

編集後記

編集後記を書かせていただいて8年になる。政治は節操なく変わった。当時の小泉氏から数えて、野田氏で6人目の首相である。経済は？。リーマンショックの傷も癒えないまま東日本大震災を被った国内産業は、その直接被害だけでなく、原発事故による電力事情と歴史的な円高で、過去に想像もできないほどの停滞ぶりだ。

坂城の企業も世界経済のうねりの中で七転八倒している。ある社長がつぶやく「海外から帰ってくると日本は止まっているように感じる。」まさに実感だろう。今年、町長が変わった。新しい風に期待したい。(関戸)

広報編集委員会

委員長 関戸 啓司
 副委員長 春日 忠雄
 委員 池田 尚弘
 佐藤 洋子
 守屋 健作
 滝澤 洋子
 宮下 智彦